



 昭和鉄工株式会社

Showa Manufacturing Co.,Ltd.

第91期 報告書

平成24年4月1日 ▶ 平成25年3月31日

SHOWA

快 適 環 境 の 創 造 に 挑 戦 す る



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成25年3月31日をもって、第91期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長 山本駿一

「差別化した新製品・サー利益確保のための組織改

Q 第91期の総括をお願いします。

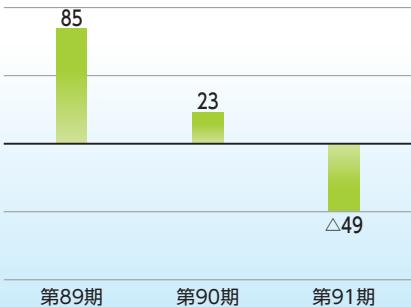
当連結会計年度におけるわが国経済は、昨年末の政権交代に伴う経済対策への期待感から、年度末にかけて円安や株価上昇など景況回復の兆しが見られ始めたものの、それまでは新興国の成長率鈍化、欧州の金融危機、米国の景気停滞など低調な世界経済の動向の中で、相対的な円高基調や対中・対韓の関係悪化もあって輸出が伸び悩み、総じて厳しい状況で推移しました。

当社にとっても円高は原材料費の低減には比較的可利であったものの、エネルギー政策の方向性が定まらず国内全般の景況感が沈滞した中では売上高の伸長や収益の確保が困難な状況で推移しました。

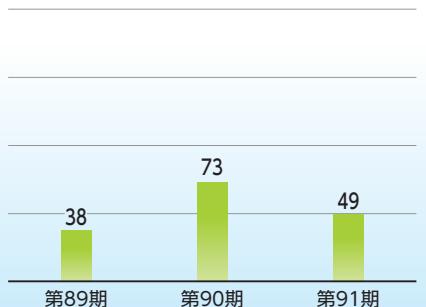
売上高 (単位: 百万円)



経常損益 (単位: 百万円)



当期純利益 (単位: 百万円)



ビスの拡販」に努めるとともに、 革に取り組んでまいります。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の3年目の年として、重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めましたが、新製品の上市の遅れや液晶パネルメーカーの設備投資縮減によるサーモデバイス機器の売上減少が業績に影響しました。

Q 第91期の業績についてお聞かせください。

当連結会計年度の当社グループの売上高は101億2千8百万円(前連結会計年度比8.6%減)、受注高につきましては106億5千3百万円(同比1.6%減)となりました。

損益面では、製品全般の売上高が減少し、特に素形材加工事業において増収が見込まれた景観製品の売上

の次年度へのずれ込みや鑄造分野の原価低減が遅れたため、経常損失は4千9百万円(前連結会計年度は経常利益2千3百万円)となりました。

また、特別利益に子会社株式売却益1億1千万円、投資有価証券売却益1千万円、特別損失に減損損失3千7百万円を計上した結果、当期純利益は4千9百万円(前連結会計年度比32.5%減)となりました。



総資産・純資産 (単位:百万円)



自己資本比率 (単位:%)



1株当たり純資産 (単位:円)



Top Interview | トップインタビュー

Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

当連結会計年度より報告セグメントとしての事業セグメント区分を変更しており、事業セグメント別の業績につきましては、変更後の区分に基づいてご説明いたします。

■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器では「ファンコイルユニット」、環境機器では「循環温浴器」や「空気清浄機」が拡販となったものの、熱源機器の売上の伸び悩みに加え、サーモデバイス機器の大幅な売上減少のため低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は59億3千万円(前連結会計年度比16.9%減)、受注高は62億1千1百万円(同比10.7%減)となりました。

■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は特注の

橋梁用防護柵の需要伸長、鋳造品は東日本大震災の復興需要により前年度に比べ売上・受注ともに増加しました。

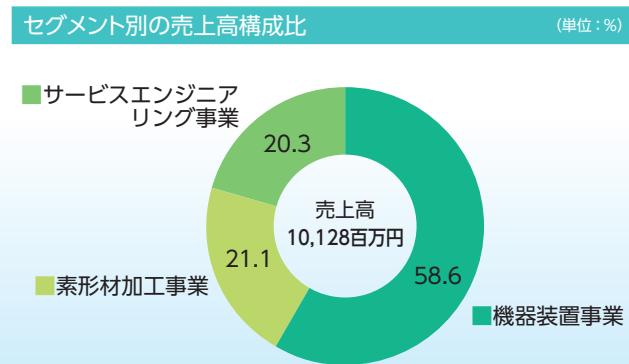
その結果、当事業の売上高は21億3千7百万円(前連結会計年度比8.1%増)、受注高は23億6千6百万円(同比17.8%増)となりました。

■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、営業強化により関東地区の有料サービスが増加し、また九州地区の設備工事の売上が好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は20億5千9百万円(前連結会計年度比4.5%増)、受注高は20億7千5百万円(同比11.5%増)となりました。

セグメント別の売上高・受注高	(単位:百万円)	
	売上高	受注高
■ 機器装置事業	5,930	6,211
■ 素形材加工事業	2,137	2,366
■ サービスエンジニアリング事業	2,059	2,075
合計	10,128	10,653



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の復興需要に加え、「アベノミクス」効果で円安基調による輸出環境の改善や金融緩和をはじめとする政府の各種政策により日本経済の回復が期待されるものの、原油価格の高騰やエネルギー・原材料価格の値上げ、また思うに任せない対中・対韓の関係など懸念材料も多く、消費や市場経済の回復には時間を要するものと予想されます。

Q 中期経営計画の最終年度に当たる今年度の取り組みをお聞かせください。

平成25年度は、中期経営計画「リカバリー130」の最終年度であると同時に、創業130周年を迎える節目の年となります。

中期経営計画「リカバリー130」の基本方針である「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を実現するために、引き続き重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」と「利益確保のための組織改革」に取り組んでまいります。

また、これらを推進していくうえでの優先課題として、財務体質の改善、CSRの推進、リスクアセスメントの充実及び人材の活性化に注力してまいります。

Q 株主還元の方法についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、

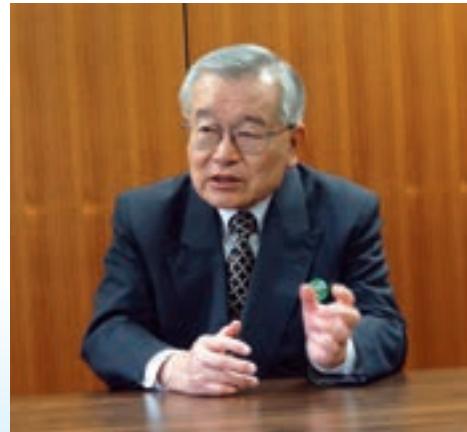
新規事業進出に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第91期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき3円とさせていただきます。

Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

環境の変化に迅速に対応できる機動的な体制の確立と的確な経営判断により、企業倫理に則った公正で誠実な事業活動を推進し、これからも『信頼され選択される企業集団』となりうるよう、全力をつくし業績の向上と新たな成長分野へ邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





当社グループは、創業130周年に当たる第92期(平成25年度)までに「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を目指し、中期経営計画『リカバリー130』を推進しております。第92期(平成25年度)につきましては、下記の重点課題に取り組んでまいります。

重点課題

1. 差別化した新製品・サービスの拡販

■機器装置事業

- 環境・省エネをキーワードにした「業務用エコキュート」や「潜熱回収ヒーター」、「タフセーバー」などハイブリッド化した給湯システムの拡販
- 設計会社との連携による「ヒートポンプ式リタンエアデシカント空調機」の普及

■素形材加工事業

- 鋼製・軽量化鋳鉄製など機能重視かつ低ライフサイクルコストの防護柵の上市による既存分野における受注の拡大と品質改善・原価低減の推進
- 鋳造分野における高付加価値化の推進とその前提となる事業運営の合理化の達成

■サービスエンジニアリング事業

- 製品販売・サービス体制の連携強化による売上の拡大

2. 利益確保のための組織改革

■事業部門制の廃止と事業統括部の新設

- 損益の責任体制の明確化を図るビジネスユニット(BU)体制とソリューション・営業・技術・製造の各機能を統括するマトリクス運営方式による製品市場の特性に応じたスピーディーな課題解決と戦略の推進

■新たな成長製品の創出

- 総合開発部とソリューション部のさらなる連携による技術開発の強化と新規事業の推進

数値目標

■第92期(平成25年度)

- 連結売上高110億円以上
- 連結売上高経常利益率1%以上

(単位:百万円・%)

	第89期 実績 (平成22年度)	第90期 実績 (平成23年度)	第91期 実績 (平成24年度)	第92期 目標 (平成25年度)
売上高	11,837	11,084	10,128	11,000
営業損益	86	33	△29	100
経常損益	85	23	△49	100
売上高経常利益率	0.7	0.2	—	0.9



優先課題

■財務体質の改善

- 在庫削減・経費削減の徹底

■CSRの推進

- コンプライアンス・環境に対する意識の醸成

■リスクアセスメントの充実

- 品質の向上、品質保証・生産体制の強化、安全・衛生活動の推進

■人材の活性化

- 人事制度の改正、技術継承の取り組み、人材育成機会の充実

業務用空調のソリューション

空調管理でお困りの問題をヒートポンプシリーズが解決します。

ケアフレッシュ 立形ルーフトップ型外気処理機

臭気・衛生・油煙などの対策のために、個別換気や片流れ給気を行う必要のある大量換気・大量排気の施設に最適です。

●主な用途

老健施設

給食センター

病院

ホテル



RADESC (ラデック) ヒートポンプ式リタンエアデシカント外気処理機

室内空気質向上のために、新鮮外気が必要な気密性の高い施設に最適です。
 還気からの熱回収を行うことで、省エネルギーで高度な外気処理を実現します。

●主な用途

事務所ビル

映画館

図書館

ショッピングモール

博物館



デシカラット ヒートポンプ式デシカント除湿機

カビ・菌の繁殖抑制や製品の品質安定のために、適切な湿度コントロールが必要な施設に最適です。
 省エネルギーで除湿を行い、湿度による問題を解決します。

●主な用途

食品工場

貯蔵倉庫

生産工場

給食センター

スーパーマーケット



連結貸借対照表

科目	当期 平成25年3月31日現在	前期 平成24年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	8,012	8,777
現金及び預金	2,831	3,042
受取手形及び売掛金	3,562	4,374
たな卸資産	1,379	1,242
繰延税金資産	44	—
その他	195	126
貸倒引当金	△1	△8
固定資産	5,958	5,331
有形固定資産	2,943	3,004
建物及び構築物	884	924
機械装置及び運搬具	344	361
土地	1,611	1,678
建設仮勘定	4	6
その他	97	33
無形固定資産	49	25
投資その他の資産	2,964	2,301
投資有価証券	2,394	1,735
その他	598	627
貸倒引当金	△27	△62
① 資産合計	13,970	14,108

科目	当期 平成25年3月31日現在	前期 平成24年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	7,459	8,078
支払手形及び買掛金	2,257	2,615
短期借入金	4,420	4,607
未払費用	418	436
未払法人税等	26	35
設備関係支払手形	25	6
その他	311	377
固定負債	3,199	3,126
長期借入金	910	938
退職給付引当金	1,643	1,617
繰延税金負債	34	—
その他	611	570
② 負債合計	10,659	11,204
(純資産の部)		
株主資本	3,177	3,154
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	398	374
自己株式	△87	△86
その他の包括利益累計額	133	△250
その他有価証券評価差額金	121	△227
為替換算調整勘定	12	△23
③ 純資産合計	3,311	2,904
負債及び純資産合計	13,970	14,108

① 総資産

前期末に比べ1億3千8百万円減少し、139億7千万円となりました。主な要因は、たな卸資産(商品及び製品、原材料及び貯蔵品、仕掛品)1億3千6百万円、投資有価証券6億5千8百万円が増加した一方で、現金及び預金2億1千万円、受取手形及び売掛金8億1千1百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ5億4千5百万円減少し、106億5千9百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億5千7百万円、借入金の減少2億1千5百万円によるものです。

③ 純資産

前期末に比べ4億7百万円増加し、33億1千1百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加3億4千8百万円によるものです。

連結損益計算書

科目	当期	前期
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
4 売上高	10,128	11,084
売上原価	7,789	8,601
売上総利益	2,338	2,483
販売費及び一般管理費	2,367	2,449
5 営業損益	△29	33
営業外収益	95	116
営業外費用	115	126
5 経常損益	△49	23
特別利益	121	146
特別損失	37	66
税金等調整前当期純利益	33	103
法人税、住民税及び事業税	28	29
法人税等調整額	△44	—
少数株主損益調整前当期純利益	49	73
5 当期純利益	49	73

4 売上高

差別化した新製品・サービスの拡販に努めたものの、新製品の上市の遅れや液晶パネルメーカーの設備投資縮減によるサーモデバイス機器の売上減少が影響しました。その結果、当期における当社グループの売上高は、101億2千8百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

5 営業損益・経常損益・当期純利益

製品全般の売上高が減少し、特に素材材加工事業において増収が見込まれた景観製品の売上の次年度へのずれ込みや casting 分野の原価低減が遅れたため、営業損失は2千9百万円(前年同期は営業利益3千3百万円)、経常損失は4千9百万円(前年同期は経常利益2千3百万円)、当期純利益は4千9百万円(前年同期比32.5%減)となりました。

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は3億5千2百万円(前年同期は1億6千万円の獲得)となりました。主な要因は、売上債権の減少額7億6千9百万円及び減価償却費1億8千2百万円による増加と、子会社株式売却益1億1千万円、仕入債務の減少額2億4千6百万円及びたな卸資産の増加額1億3千7百万円による減少です。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	352	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375	45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208	△45
現金及び現金同等物の増減額	△230	159
現金及び現金同等物の期首残高	3,042	2,882
現金及び現金同等物の期末残高	2,811	3,042

Corporate Information

会社情報

(平成25年3月31日現在)

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
創業	明治16年10月2日
設立	昭和8年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	332名(連結388名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器・熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負

主な事業所

東京支社	東京都大田区蒲田五丁目44番5号
工場	宇美工場、久山工場(以上福岡県粕屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(石狩市)
営業所	札幌、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州(福岡県粕屋郡)、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、朝日テック株式会社、大連氷山空調設備有限公司

役員

(平成25年6月26日現在)

取締役・監査役

代表取締役	山本 駿一
取締役	山田 治彦
取締役	相賀 恒男
取締役	寺倉 彰
取締役	福田 俊仁
取締役	筋野 隆
監査役(常勤)	山根 譲治
監査役	櫻井 文夫
監査役	永利 新一

執行役員

社長CEO	山本 駿一
専務執行役員	山田 治彦
専務執行役員	相賀 恒男
常務執行役員	寺倉 彰
執行役員	福田 俊仁
執行役員	村山 正巳
執行役員	鍋山 敏郎
執行役員	倉岡 淳
執行役員	板並 隆一

株式の状況

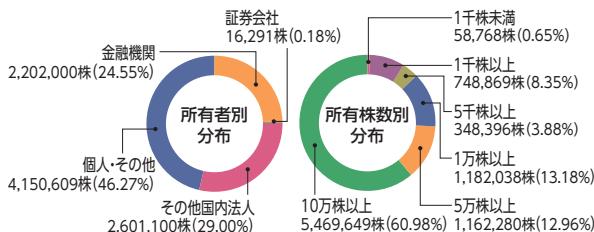
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,970,000株
株主数	887名

大株主

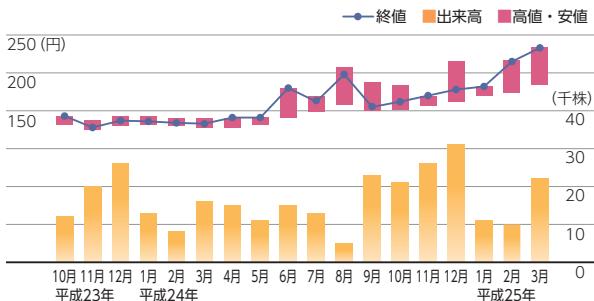
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三井金属鉱業株式会社	485,000	5.75
株式会社福岡銀行	415,500	4.92
株式会社西日本シティ銀行	400,000	4.74
株式会社北九州銀行	357,500	4.23
住友商事株式会社	345,000	4.09
飯田卓子	297,114	3.52
西日本鉄道株式会社	291,000	3.45
飯田久泰	267,000	3.16
稲田好美	198,135	2.34
日本乾溜工業株式会社	187,000	2.21

(注) 持株比率は、自己株式(536,900株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

株主総会の招集地 福岡市

基準日
 定時株主総会の基準日 毎年3月31日
 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日
 中間配当の基準日 毎年9月30日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
 口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
 (お問合せ先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。
<http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 1,000株

株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<http://www.showa.co.jp/>

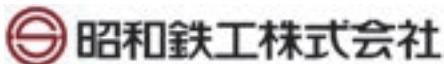
●トップ画面



●IR情報トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。



〒812-8587 福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
TEL 092-651-2931 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷するとともに、針金を使わない
Eco印刷製本を採用しています。